

温室効果ガス排出量・吸収量の現況推計結果の経年推移

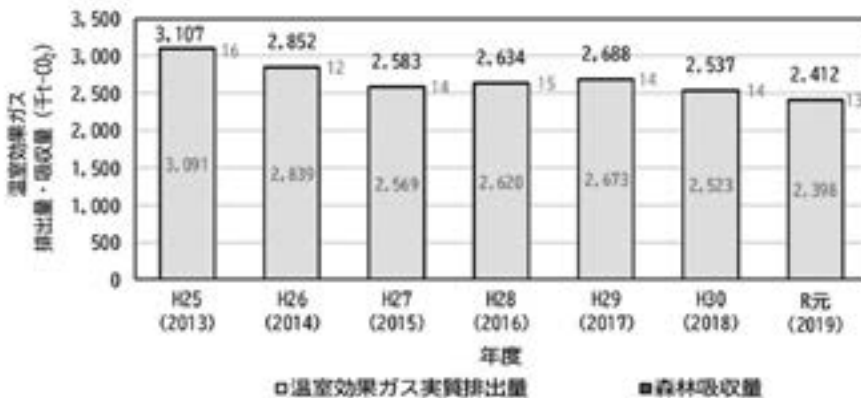
部門・分野	温室効果ガス排出量 (千t-CO <sub>2</sub> )						R元年度 削減率 ※H25年度比	
	H25年度 (2013年度) 【基準年度】	H26年度 (2014年度)	H27年度 (2015年度)	H28年度 (2016年度)	H29年度 (2017年度)	H30年度 (2018年度)		
産業部門	2,181	1,976	1,727	1,836	1,900	1,763	1,707	-21.7%
業務その他部門	279	262	253	221	220	215	195	-30.0%
家庭部門	263	250	230	222	220	215	174	-33.6%
運輸部門	363	348	355	336	330	328	317	-12.8%
廃棄物分野	16	9	12	14	13	12	13	-16.5%
その他	6	6	5	5	5	5	5	-11.7%
温室効果ガス総排出量	3,107	2,852	2,583	2,634	2,688	2,537	2,412	-22.4%
森林吸収量	-16	-12	-14	-15	-14	-14	-13	-18.0%
温室効果ガス実質排出量	3,091	2,839	2,569	2,620	2,673	2,523	2,398	-22.4%

注) 1. 表中の温室効果ガス排出量は、原則として「地方公共団体実行計画(区域施策編) 策定・実施マニュアル(算定手法編)(令和5年3月)」に準拠し算定しています。  
2. 端数処理のため、合計が一致しない場合があります。  
3. 各部門・分野で対象とする温室効果ガスは以下のとおりです。  
・産業部門：工場・事業場のエネルギー消費に伴い発生する二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)  
・業務その他部門：事業所・ビル、商業・サービス施設等のエネルギー消費に伴い発生するCO<sub>2</sub>  
・家庭部門：家庭におけるエネルギー消費に伴い発生するCO<sub>2</sub>  
・運輸部門：自動車や鉄道、船舶におけるエネルギー消費に伴い発生するCO<sub>2</sub>  
・廃棄物分野：廃棄物の焼却や廃棄物燃料の使用に伴い発生するCO<sub>2</sub>  
・その他：自動車の走行や農業活動等に伴い発生するメタン(CH<sub>4</sub>)・一酸化二窒素(N<sub>2</sub>O)

現状趨勢ケース(BAU)の温室効果ガス排出量等

部門・分野	現況							BAU			
	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	H32年度 (2030)	H32年度 (2030)	H25比	
二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )	3,102	2,846	2,577	2,629	2,683	2,532	2,407	2,418	-22%	2,375	-23%
産業部門	2,181	1,976	1,727	1,836	1,900	1,763	1,707	1,756	-19%	1,778	-18%
製造業	2,158	1,957	1,707	1,818	1,883	1,747	1,694	1,743	-19%	1,765	-18%
建設業・鉱業	15	14	13	11	11	10	8	7	-51%	7	-55%
農林水産業	8	6	6	7	6	6	5	6	-28%	6	-25%
民生部門	542	512	483	443	440	430	370	351	-35%	312	-88%
家庭	263	250	230	222	220	215	174	176	-33%	178	-32%
業務	279	262	253	221	220	215	195	175	-37%	135	-52%
運輸部門	363	348	355	336	330	328	317	297	-18%	272	-25%
自動車	250	241	252	235	230	231	222	221	-12%	218	-13%
鉄道	11	11	10	10	10	9	8	7	-35%	6	-48%
船舶	102	96	92	92	87	88	86	89	-32%	48	-53%
廃棄物分野	16	9	12	14	13	12	13	13	-17%	13	-17%
一般廃棄物	16	9	12	14	13	12	13	13	-17%	13	-17%
メタン(CH <sub>4</sub> )	2	2	2	2	2	2	2	2	-35%	1	-54%
一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)	3	3	3	3	3	3	3	3	-13%	2	-25%
代替フロン	0.005	0.004	0.005	0.005	0.005	0.004	0.004	0.004	-4%	0.004	-4%
温室効果ガス総排出量	3,107	2,852	2,583	2,634	2,688	2,537	2,412	2,422	-22%	2,379	-23%
森林吸収量	-16	-12	-14	-15	-14	-14	-13	-14	-13%	-16	-3%
温室効果ガス実質排出量	3,091	2,839	2,569	2,620	2,673	2,523	2,398	2,408	-22%	2,363	-24%
H25(2013)年度比増減率	-	-8%	-17%	-15%	-14%	-18%	-22%	-22%	-	-24%	-

注) 端数処理の都合により、表中の数値で計算した数値や合計値と一致しない場合があります。



温室効果ガス排出量・吸収量の現況推計結果の経年推移

なるほど  
行政データ

尾道市地球温暖化対策実行計画

尾道市温室効果ガス排出状況

令和5(2023)年度〜令和12(2030)年度

尾道市は脱炭素社会の実現と快適な暮らしを両立し持続可能な発展を続けるまちを目指し、令和5年8月付で実行計画(区域施策編)を策定した。表は現状と令和12・32年度の推計。  
上の表は部門・分野別の現況推計。

森林吸収量を加味した温室効果ガス実質排出量は2019年度が2398t-CO<sub>2</sub>とCO<sub>2</sub>で13年度の3091t-CO<sub>2</sub>と比べ、約22%減少している。  
現状趨勢ケースは追加的対策を行わない現状から推計されるケース。